

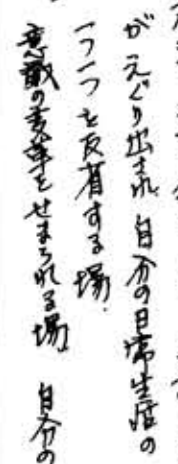
1989
1月
No. 100

津田尚美方 TEL.

逐次刊行物

編集人：葛西よう子。


“継続力”を相言葉に出して、国事場の教育会館
すやびな機関誌。とうとう百号の物販センター



一月二十五日の夜、ぼくはヤマシ達に集まる
長崎名物「ヤシ」を食ふべからう。
色々と言ひ合ひました。
私とぼくは「ヤシ」
職場であつた色々のうさぎも数多き場所。
サナにぶつて怒りをはら出してみると
気が折れもスーッとすると、見えぬかたもの
が見えて来る。皆が「ヤシ」を食ふとすると
間にどうして、その気が折れも折れたのか
その背後にあるものが見えて来る。
職場であつた事々としてのは、まことにヤシは
別と云ふ仕事へのやり、管理を食ふのめつ
けに對する人間としての絶望感、権力の理
屈を越えておいて来るもの、たまにへの
反発……、そうゆう事が多くなり、話し合ふ
る間に、どうしてそうなるか、とわづらへる
そんな明日、又、生きて行く。あつた事は
あつたと云おうと、その勇気が湧いてくる。
自分の中に逆意感がある。それだから、
自分の、こゝと、こゝと甘ん、やと差別する。在
今構造に、こゝで行こうとする、気が折れも折
がえり出され、自分の日常生活の
一つ一つを反省する場所。
意欲の委縮をせざる場所、自分の



き、いかに思わす出た時、遠慮なく、そのえに指摘しようとする得ない場。ワーフ、シマッタと大笑の内にやりすぎ、自分が変るを行けよ。
ホント、アリガトウネ、ミンナノ！
・マニエリ化を行く自分を打破する為、ズラと出席しては気がする。



十数年前、老足し頃
「ぼんやマン」の会は何をとりなが？

・最初が苦だら、誰か合そう間段々と中味が充実し来た。

・あの最初は念舎の場所が、銀腹じだら、場所がサレ的だった。それから増進の喫茶店で合同する様になり、どつ渡鳥者さんで創会を開く様になった。

・有職婦人の会の人と会員に多く、今年も由古さんをはじめ年令の高い人が多かった。

・雅派系が、ちりや、ワカシを持ち上げます。以前のちりやー、ワカシのはしりと云うへ、人々が集まるようになった。フスミに初ソッ人も多かった。

・おやややの人が多かった。

・後藤みなぎの講演会を開きに行くと入会したチヤ台の私達が一着若かった。

・やはり最年少だった岸本さんが原稿を書き、機関誌のやり取りが出来ることになった。

(Illustration of a bottle and flowers)



「選挙違反：お許し
下さるならいいでは」

金丸元副総理 大赦、恩赦で

金丸氏は記者会見や大会で、昭和の天皇と逝去に伴う大赦、恩赦の適用範囲について「選挙違反は悪いことと思うが、お許し下さるのならいいではないか」と述べたり、社会党批判の中で「土井たか子にはおだんながねえじゃないか」と委員をからかうなど「言いたい放題」。出席者の間には「言い過ぎでは」の声も出ていた。

会見では本島等市長（元長崎県選挙区長）に触れ、きつい皮肉。「言論の自由があるから何を言おうといいが、天皇はいる（苦勞）され、私は国民の一人として心を痛めている。警官が同行して上京するなど、こんなことをするのはこの共産党の人かなと思つた。長崎にはいろんな人がいるなあと思つた」

決起大会の講演では、先の税制国会で「牛歩戦術」をとった社会党を「標を飲んだようなやり方では政治にはならん。土井委員長があんな態度で政治をやつてたんじゃ社会党の心ある人も嘆く」と批判。英国のサッチャー首相を引き合いに出し「サッチャーのつめをせんにて飲んだらどうかと言つたら、サッチャーとは比較にならないよ、サッチャーは男性を知っている、おだんながある、土井さんにはおだんながねえじゃないか、男を知らん、と笑い話になった」と冷やかした。

日本の副総理とつりあひで つつめをせんにて飲んだらどうかと言つたら、サッチャーとは比較にならないよ、サッチャーは男性を知っている、おだんながある、土井さんにはおだんながねえじゃないか、男を知らん、と笑い話になった」と冷やかした。

「女性べつ視許せぬ」
金丸発言に長崎抗議
長崎市で一月末あつた自民党長崎県連主催の参院選決起大会で、金丸元副総理が、社会党の土井たか子委員長について「お旦那（たか子）がない、男を知らん」などこきやかしたた

抗議します！
（これが選挙違反とやらで選挙の抗議文です）

1月26日付の朝日新聞に掲載された金丸元副総理の発言のなかに、『サッチャーは男性を知っている、おだんながある、土井さんにはおだんながねえじゃないか、男を知らん、と笑い話になった』という主旨のことがありましたが、このことは女性蔑視の発言であり、結婚しない女性に対する差別発言です。

私達 “ばってん・うーまんの会” は、この発言に抗議します。なぜなら、女子差別撤廃条約に批准した国の元副総理の発言としては許されないものであり、国内外的にも非難されるべきものであると考えるからです。

このような発言が、笑い話のなかになされ、それが公的な場で紹介される、ということは自民党の体質そのものが、男女差別を容認していることを暴露しているようなもので、それが政党第1党であるだけに私たちは大変なショックと憤りを覚えています。

これからの時代は、女性のシングル化がますます進んでいく状況にあることをきちんと認識して、配偶者がいようといまいと女性を1人の人間として尊重することを要望します。